

式 辞

残雪を頂く八甲田の峰麗しく、八幡岳を仰ぐここ館野が原にも一段と強く陽の光が注ぎ、万物が（春に）目覚めるこの佳（よ）き日。

御来賓の皆様の御臨席を賜り、保護者の皆様とともに、入学式を迎えられたことは、この上ない喜びであり、教職員を代表し、厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可した八十九名の生徒の皆様、御入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本校は、大正十五年・昭和元年に開校し、今年で九十八年目を迎える県内屈指の伝統校です。また、平成八年に県内初となる総合学科を開設し、県内の総合学科をリードしてきたほか一昨年には、七戸町が運営するこれもまた県内初となる七戸公営柏葉塾が開校されるなど、地域の多様な願いに応える公立高校として、多彩な教育活動を推進してまいりました。

この三月時点の卒業生は一万五千八百十七名を数えます。そして、皆さんは、三年後、一万六千名を超える卒業生の一人となります。

あらためて新入生の皆さん。皆さんとは、入学に際し一つの約束をしました。

それは、「この七戸高校で幸せになるという覚悟をもって来ること。」

その覚悟を持ってここに来てくれた皆さんに一編の詩を贈ります

「ひとりひとり」

ひとりひとり 違う目と鼻と口を持ち
ひとりひとり 同じ青空を見上げる

ひとりひとり 違う顔と名前を持ち
ひとりひとり よく似たため息をつく

ひとりひとり 違う小さな物語を生きて
ひとりひとり 大きな物語に呑み込まれる

ひとりひとり ひとりぼっちで考えている
ひとりひとり ひとりでいたくないと

ひとりひとり 簡単にふたりにならない
ひとりひとり だから手がつなげる

ひとりひとり たがいに出会うとき
ひとりひとり それぞれの自分を見つける

ひとりひとり ひとり始まる明日は
ひとりひとり 違う昨日から生まれる

ひとりひとり 違う夢の話をして
ひとりひとり いっしょに笑う

ひとりひとり どんなに違っていても
ひとりひとり ふるさとは同じこの地球

「ひとりひとり」 谷川俊太郎

皆さんは、心を静かにして、この詩の一つ一つの言葉を聞いてくれます。このように、心静かに耳を澄ますと、小鳥のさえずりや、かすかな虫の鳴き声が聞こえるように、一人一人の姿が見えてきます。自分が自分がと心が乱れると、一人一人の声が聞こえなくなり、姿が見えなくなります。

皆さんは、自分の意志で七戸高校を選び、ここで幸せになることを覚悟しました。生まれてから今まで育ってきた皆さんの物語は89名全員が異なります。皆さんが卒業された中学校は十五校です。それぞれ違った場所で、違った中学校を卒業し、いろんな理由と志をもって、この場にいます。

しかし、今。皆さん一人ひとりの価値観や考え方が、どんなに違ったとしても、これからの人生において大切な高校生活は、たった一つ。

この七戸高校から始まるのです。だから、心静かに、あなたと同じように、他の十八人の生徒も幸せになりたいと胸の奥で心を震わせていることを静かに感じ取ってください。

さて、七戸高校は、皆さんが幸せになるために、次の5つの能力を卒業までに身に付けさせることを学校の使命としています。

自己肯定力・実行する力・考え抜く力・協働する力・郷土を愛する力。

この5つの力を身に付けるために、皆さんには、いろんなことを学び、いろんなことを体験し、考えてもらいます。

このとき、皆さん個々の幸せを実現するために必ず守ってほしいことがあります。それは、これからの七戸高校での学びや体験の一つ一つ、そのすべてが、あなた自身の夢実現に結び付いているということ。このことをあなた自身が強く信じていてほしいということです。

これまで生きてきた経験で、役に立つとか立たないとか、好きとか嫌いとか、勝手な判断をしてはだめです。見えない未来を判断できるはずがありません。

だからこそ、「幸せになる覚悟」が必要なのです。同じ思いをもつ仲間が、先生が、保護者が、そして地域の方々がここにいるということに気づく必要があるのです。あえて繰り返します。これからの七戸高校での学びや体験の一つ一つ、そのすべてがあなた自身の夢実現に結び付いているということ。このことを強く信じてください。

このことの本当の意味は、3年後の3月1日。卒業式の日に分かります。だから、その日まで誰一人かけることなく、ここで卒業式を迎えられるよう、我々教職員一同、皆さんとともに皆さんの幸せのために誠心誠意努めてまいります。

保護者の皆様。本日は、おめでとうございます。私ども教職員は、この出会いを何より大切にいたします。そして、皆様のお子様一人一人が必ずや、充実した高校生活を送り、3年後、ここで、笑って卒業されるよう、一人一人の健康と安全を守り、人格を尊重し、個性と能力をしっかりと伸ばし、社会に送り出すことをお誓いいたします。

至らぬ点もございますが、御協力を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

結びに、本日御列席いただきました御来賓の皆様方に重ねて感謝の意を表しますとともに、あらためまして、89名全ての新入生の皆さんの高校生活が実り多いものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和5年4月7日

青森県立七戸高等学校

校長 森田勝博